

河川水質調査概要版

	蛇の崎橋			旭川橋			大戸川橋			備考
PH	平均	最高値	最小値	平均	最高値	最小値	平均	最高値	最小値	水質基準
令和元年度	7.8	8.5	7.1	7.4	7.7	7.1	7.2	7.5	6.9	6.5～8.5
令和2年度	7.6	7.8	7.2	7.4	7.5	7.2	7.1	7.3	6.9	
令和3年度	7.8	8.4	7.1	7.4	7.8	7.0	7.2	7.6	7.0	

BOD	平均	最高値	最小値	平均	最高値	最小値	平均	最高値	最小値	水質基準
令和元年度	-	0.9	0.5未満	-	0.9	0.5未満	-	1.3	0.5未満	3mg/l以下
令和2年度	-	0.5	0.5未満	-	0.7	0.5未満	-	0.8	0.5未満	
令和3年度	-	0.5	0.5未満	-	0.6	0.5未満	-	0.8	0.5未満	A類型 2mg/l以下

SS	平均	最高値	最小値	平均	最高値	最小値	平均	最高値	最小値	水質基準
令和元年度	2.5	9.0	1.0	3.5	10.0	1.0	6.4	27.0	1.0	25mg/l以下
令和2年度	2.3	6.0	1.0	3.0	7.0	1.0	8.7	23.0	2.0	
令和3年度	1.9	4.0	1.0	2.8	6.0	1.0	8.6	18.0	3.0	

DO	平均	最高値	最小値	平均	最高値	最小値	平均	最高値	最小値	水質基準
令和元年度	11.6	14.0	9.9	11.5	15.0	9.0	11.4	14.0	9.5	5mg/l以上
令和2年度	11.4	15.0	9.2	11.6	15.0	8.7	11.1	14.0	8.7	
令和3年度	11.8	15.0	10.0	11.8	15.0	10.0	11.6	14.0	9.0	A類型 7.5mg/l以上

大腸菌群数	平均	最高値	最小値	平均	最高値	最小値	平均	最高値	最小値	水質基準
令和元年度	1,300	4,900	110	3,396	13,000	130	10,205	24,000	490	5000mpn/100ml以下
令和2年度	2,174	7,900	170	3,281	13,000	240	10,056	24,000	790	
令和3年度	1,850	7,900	49	2,238	7,900	130	9,051	24,000	330	A類型 1000mpn/100ml以下

毎月採水(12ヶ月×3箇所)を実施。

○蛇の崎橋、旭川橋での水質(秋田県水質汚濁に係る環境基準の水域類型:B類型)

○大戸川橋での水質(秋田県水質汚濁に係る環境基準の水域類型:A類型)

PH	水素イオン指数又は水素イオン濃度指数と呼ばれ、物質の酸性、アルカリ性の酸性度の程度を表す。
BOD	生物化学的酸素要求量と呼ばれ、水中の有機物などが生物化学的に酸化・分解されるために消費される酸素の量を表したもので、BODの値が大きいほど、その水質は悪いと言える。
SS	浮遊物質又は懸濁物質とも呼ばれ、水質指標の一つ。水中に浮遊する粒径2mm以下の不溶性物質の総称。浮遊物質(SS)の多い水は、透視度が下がり藻類の光合成を阻害する。また、汚濁の進んだ水では有機態のSSの比率が高くなり、その有機物の分解に溶存酸素が消費されるため生態系に大きな影響を与える。
DO	溶存酸素量とは、水中に溶存する酸素の量のことであり、DOが減少すると水中の好気性微生物の活動が鈍り、自然浄化作用が働かなくなる。DO値が低いと水質が悪いこととなる。
大腸菌群数	大腸菌群とは、グラム陰性無芽胞性の短桿菌であり、乳糖を分解して酸とガスを産生する好気性または通性嫌気性の細菌群。細菌分類学上の大腸菌を必ずしも示すわけではなく、衛生学的に尿尿汚染の指標となる一群の菌の総称である。

※ 雄物川(皆瀬川・成瀬川含む)については、国土交通省湯沢河川国道事務所にて測定しております。
横手川については秋田県においても測定しております。